資料１

第２回　北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ
結果とりまとめ資料

目次

１．開催概要 １
２．市民が共有した「新庁舎の望ましい立地の要件」 １
３．新庁舎の望ましい立地の要件における「4 つの視点」 ３
４．まとめ
■第２回ワークショップで共有された視点 ４
■第２回ワークショップ全体のまとめ【グラフィックレコーディング】 ５
■各班の議論（とりまとめ）
１班 ７
２班 ９
３班 11
４班 13
５班 15
６班 17
７班 19
８班 21

１.開催概要

（１）日時・場所

令和８年７月８日(水）午後７時　北杜市役所 長坂総合支所 ２階 大会議室

（２）参加者数

45 名（地域代表、公募市民）

（３）内容

第１回 WS の振り返りと、新庁舎の望ましい立地の要件についてのグループワーク

２.市民が共有した「新庁舎の望ましい立地の要件」

各班の議論において、新庁舎の望ましい立地要件として、以下の点が意見として挙げられました。

新庁舎の望ましい立地要件	
〇利便性・交通アクセス	
・IC、国道、県道、市道など骨格的な道路にアクセスしやすい場所 ・鉄道、バスなど公共交通との連携が取れる場所 ・車・公共交通のいずれでも利用しやすい場所	・十分な駐車場を確保できる場所 ・誰もがアクセスしやすく、移動手段に関わらず利用しやすい場所 ・新庁舎を起点として公共交通ネットワークを構築できる場所
〇防災拠点性・安全性	
・地震、水害、土砂災害、火災、雪害などの災害リスクが低い場所 ・災害時の司令塔・防災拠点として機能できる場所 ・緊急輸送道路となる国道や高速道路にアクセスしやすい場所	・広い敷地を確保でき、備蓄・物資集積・避難活動が可能な場所 ・ヘリポート等の防災機能を確保できる場所 ・支所や既存公共施設と連携した防災活動が可能な場所

〇地域的公平性・中心性	
・北杜市内のどこからでも比較的行きやすい場所 ・市の地理的な中心または交通上の中心となる場所 ・地域間のアクセスの偏りが少ない場所	・市民が納得できる中心拠点となる場所 ・本庁と支所の役割分担を前提として市全体を統括できる場所
〇財政・経済性・持続可能性	
・市有地や公共用地を活用できる場所 ・既存の公共施設や学校跡地等を活用できる場所 ・なるべく整備費用を抑えられる場所	・維持管理コストを抑えられる場所 ・本庁と支所を有効活用しながら運営できる場所
〇まちづくり・周辺連携	
・商業施設、公園、病院、図書館、銀行などと連携できる場所 ・買い物や用事をまとめて済ませられる場所 ・周辺に開発の余地があり、新たな拠点形成が可能な場所	・新庁舎を核としてまちづくりを進められる場所 ・人が集まり、にぎわいや交流が生まれる場所 ・周辺施設との集積や連携により利便性を高められる場所
〇その他	
・DX の進展を踏まえ、本庁と支所の最適な役割分担を実現できる場所 ・市民が気軽に立ち寄れる場所	・将来の人口動向や中学校再編等を見据えた場所 ・北杜市らしさや地域資源を発信できる場所

3.「新庁舎の望ましい立地の要件」における「4 つの視点」

全 8 班が最終的に整理した「新庁舎の望ましい立地の要件」を集計した結果、以下の 4 つの視点に意見が集約されました。

視点	具体的な立地に関する意見	該当班
①交通	・IC、県道、市道、国道に隣接するエリア等の車で行きやすい場所 ・鉄道、バスとの連携が取れる公共交通で行きやすい場所	1班・2班・4班・5班 6班・7班・8班
②災害・防災	・地震、水害、土砂災害、雪害等のあらゆる災害に強い（リスクのない）場所 ・緊急輸送道路等の骨格的な道路にアクセスでき、防災活動が可能な広い場所	1班・2班・3班・4班 5班・6班・7班・8班
③経済性・コスト	・公有地や既存公共施設の土地・建物が活用可能で、お金がなるべくかからない場所	1班・2班・5班 6班・8班
④まちづくり	・周囲に開発の余地があり、庁舎建設を機会にまちづくりが出来る場所 ・みんなが納得感のある中心地 ・新庁舎を中心に、商店・公園・病院・消防などの都市機能が連携し、まちの拠点となる場所 ・中学校や支所との連携を踏まえ、地域全体の中心性・拠点性を高められる場所	1班・3班・4班 7班・8班

４.まとめ

■第２回ワークショップで共有された視点

第２回ワークショップにおける全８班の議論を通じ、参加した市民の間では、新庁舎の望ましい立地について主に４つの視点が共有されました。

- 「交通」については、IC や国道などの骨格的な道路へのアクセスや、鉄道・バスなどの公共交通との連携を重視する意見が多く、市内のどこからでも利用しやすく、誰もがアクセスしやすい立地を求める声が多く寄せられました。
- 「災害・防災」については、地震や水害、土砂災害、雪害等の災害リスクが低いことに加え、災害時の司令塔として機能できることや、緊急輸送道路へのアクセス、広い敷地の確保など、防災拠点としての機能を重視する意見が全班から挙げられました。
- 「経済性・コスト」については、市有地や既存公共施設の活用により整備費用や維持管理費を抑え、将来にわたって持続可能な庁舎整備を求める意見が多く見られました。
- 「まちづくり」については、商業施設や病院、公園などと連携しながら、新庁舎を核とした新たな拠点形成や周辺まちづくりを期待する声が多く、庁舎整備を契機として人が集まり、にぎわいや交流が生まれる場所を望む意見が挙げられました。

これらの意見から、新庁舎は単なる行政サービスの場ではなく、防災・交流・地域活性化の拠点としての役割が期待されており、今後の立地検討や基本構想策定における重要な視点になるものと考えられます。

第２回ワークショップ全体のまとめ【グラフィックレコーディング】

さまざまな立場から、多様な意見が示され
活発な意見交換の場となりました！

STEP1

テーマ　これからの庁舎で大切にしたい理念キーワード（あらためて確認しましょ！）

やっぱ大事だよね…

- 中心であること
  集まりやすさ
  立寄やすさ → インター近く
- 交通・アクセス
  駐車場
- 防災性
  災害に強いこと
- 職員の働きやすさ… 課をまたいだ連携の！
- 利用しやすさ
- 広いこと
- 低予算
- DX
- 他施設との関係性
- 自然：水・緑・光
- 北杜市らしさ・シンボル性
- 市民の誇り

STEP2

テーマ　新庁舎の望ましい立地の要件とは？？

どんな場所・位置にあるとGood？

どんな環境・土地が良いのだろう？？

場所・位置に関する意見

アクセス

- 公共交通との連携（車・電車・バス）
- 通りやすい道路
- 北杜市の入口
- → 誰もが行きやすい場所

広くて、クネクネしてない

環境・土地に関する意見

防災・安全性

- ハザードMAP重視 → 安全な土地。
- 物資はこびやすい場所
- → 水害・地震あらゆる災害に対応。できる強い土地

雪害

地盤

ヘリポートつくれる場所

公平性・中心性

- みんなが等しく行ける場所
- 中心で行きやすい立地
- → 納得感ある中心地

みんなが

イイネ！ Good！ Good イイネ！

土地のスペック

- 広い
- 平ら
- 見はらし良い

View Good！

広 平

まちづくり

- 居心地が良い場所
- 支所との機能分担…大事！
- → 新庁舎をまちづくりの拠点に!!

みんなで

ハブ

チャンス！

デザイン化

財政・持続可能性

- イニシャルよりもランニング大事!!
- 既存の建物を活かす！
- → なるべく低コストで！

廃校とか。

その他

- ついでに色々な用事ができる集約化
- 周囲に開発の余地がある
- 点だけでなく、面を捉えていこう！

shopping

市役所

病院

図書館

■各班の議論（とりまとめ）

【1班】 第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ ～ テーマ:新庁舎の望ましい立地の要件とは ～

【グループ意見交換①】 ～第１回ワークショップを振り返る「これからの庁舎とは、どうあるべきか(理念・キーワード)」～

これからの庁舎とは、どうあるべきか（理念・キーワード）				
＜利便性・交通アクセス＞ ・多くの住民が等しい距離で利用できる場所 ・公共交通や車で誰でも行きやすい 〔本庁までの移動時間かかる(現状)〕 ・IC や幹線道路との車でのアクセス重要	＜防災拠点性・安全性＞ ・防災拠点〔避難場所、備蓄〕 ・安心安全の防災拠点〔本庁舎は防災の司令塔、中心となるもの〕 ・支所は各地域の防災の中心として活用する支所が避難場所等になる。 〔本庁舎：司令塔、平地、川に近くない〕	＜財政・経済性・持続可能性＞ ・公共用地等を活用した庁舎 ・維持管理コストを節約 ・公共用地等を活用した無駄の無い庁舎〔民有地の取得、土地買収〕 ・庁舎のランニングコスト〔本庁舎と支所〕 ・本庁と支所を有効活用する〔面積広い有効活用〕	＜まちづくり・周辺連携＞ ・居心地の良さ〔気軽に行ける〕 ・本庁と支所を有効活用する ・本庁に頻繁に行かなくてもよい方法(交通が良くないので)〔DX、支所窓口、ワンストップ〕	＜その他＞ ・本庁は人口の一番多い町に(大多数が優先で)〔利便性〕

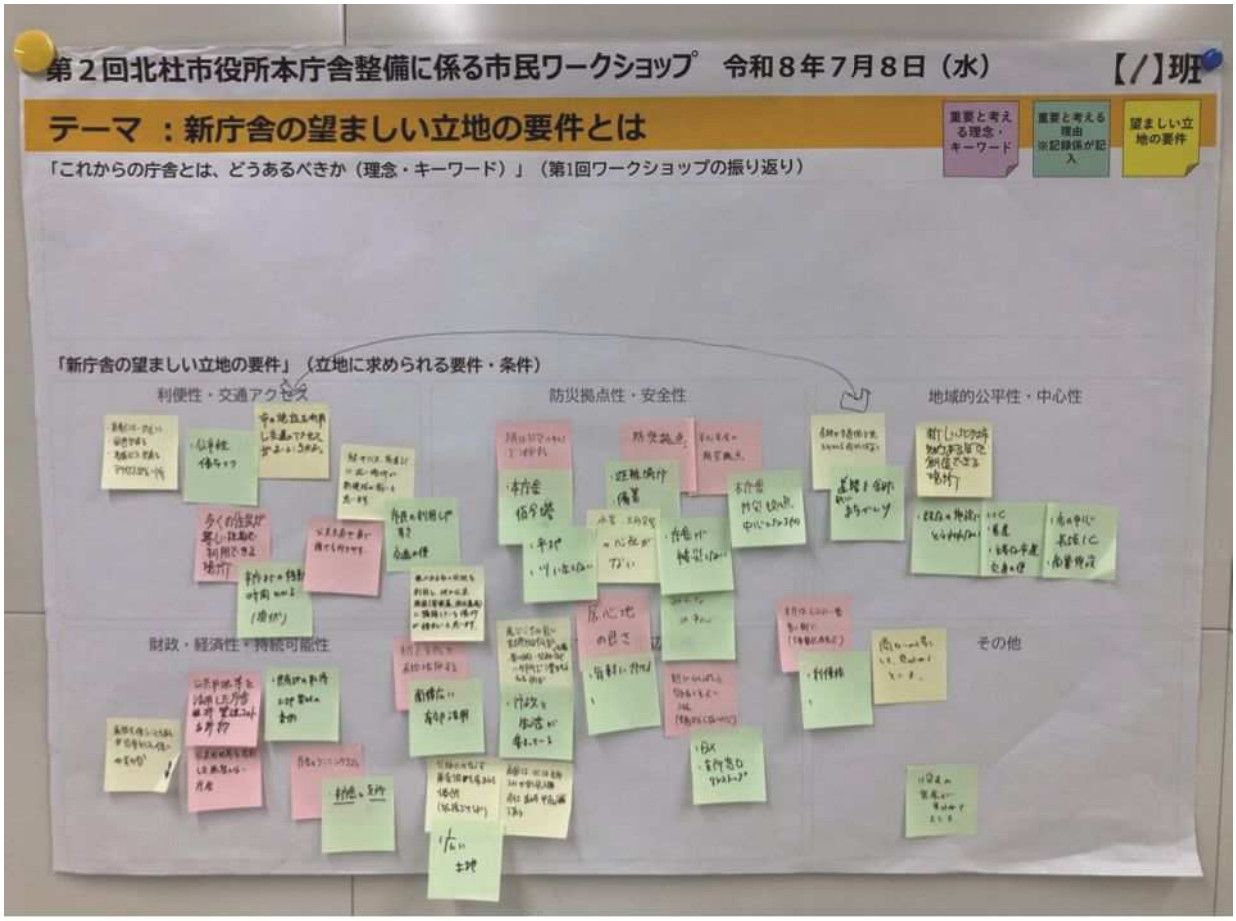
【グループ意見交換②】 ～新庁舎の望ましい立地の要件を考える（立地に求められる要件・条件）～

利便性・交通アクセス	防災拠点性・安全性	地域的公平性・中心性	財政・経済性・持続可能性	まちづくり・周辺連携	その他
・駅やバス、高速 IC に近い場所は利便性が高いと思います〔市民の利用しやすさ、交通の便〕 ・国道がある　・市民バスがある ・既にある市の用地を利用し、他の公共施設(警察署、消防署等)に隣接している場所が好ましいと思います ・市の施設を利用し交通アクセスが良いところ〔公平性を保ちつつ〕	・水害、土砂災害等の心配がない〔庁舎が被災しない〕	・道路や交通面が悪ければ作ればよい〔道路も含めた新しいまちづくり〕 ・新しい北杜市、魅力ある町を創造できる場所〔既存の施設にとらわれない、IC、県道、主要な市道、交通の便、市の中心、長坂 IC、商業施設〕	・廃校を使うこともあるが庁舎として使いやすいか	・行政のみならず商店街も集まれる場所(拡張できるか)〔広い土地〕 ・居心地の良い立地とは何か ・買い物、行政、公園など一ヶ所で済ませられるか〔行政と生活が集まっている〕 ・商圏としては、北は長野県諏訪や富士見方面、南は韮崎甲府方面である	・商いの場として見込めるところ〔将来の発展が見込めるところ〕

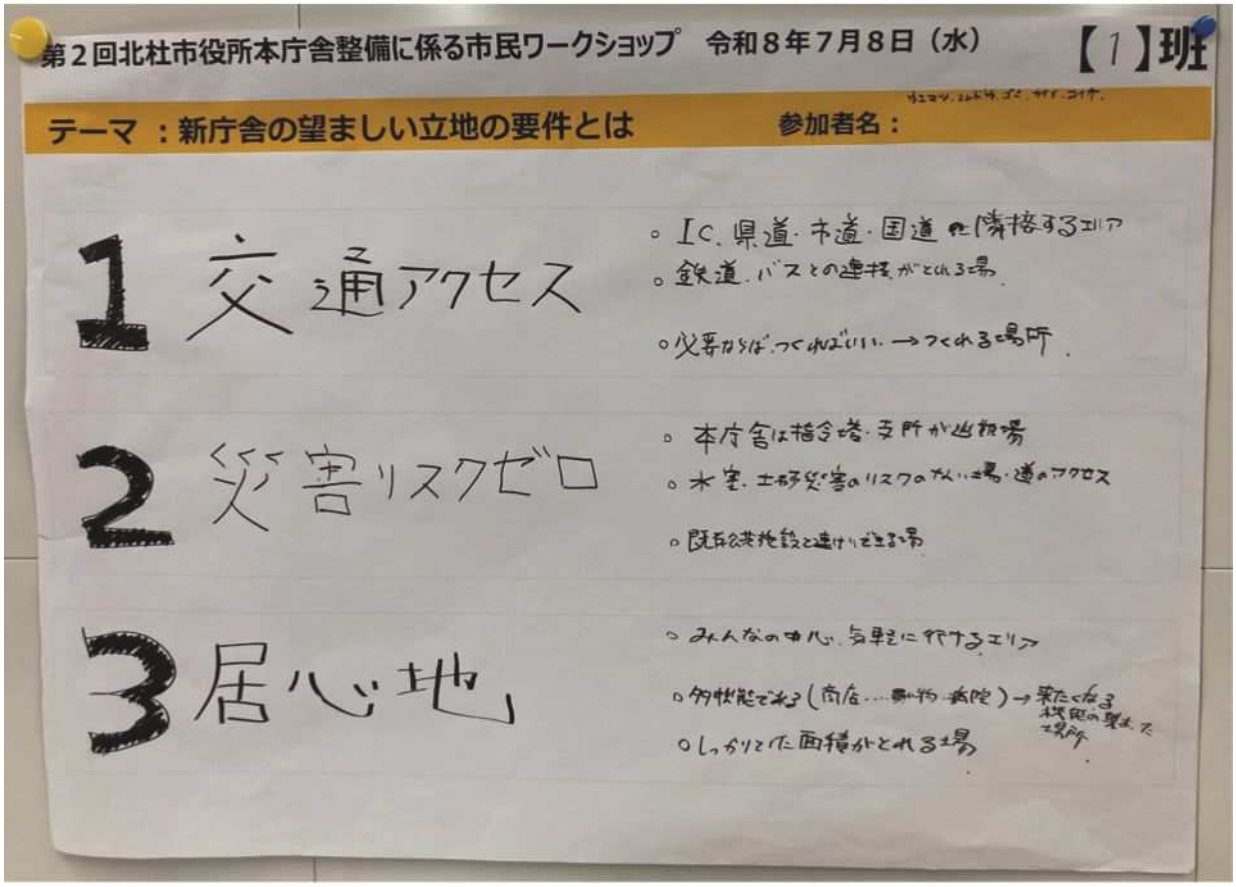
【グループ意見のとりまとめ】 新庁舎の望ましい立地の要件とは

- 交通アクセス
  - ・IC、県道、市道、国道に隣接するエリア
  - ・鉄道、バスとの連携が取れる場
  - ・必要ならば、つくればいい。→つくれる場所
- 災害リスクゼロ
  - ・本庁舎は指令塔、支所が避難場
  - ・水害、土砂災害のリスクのない場、道のアクセス
  - ・既存公共施設と連携できる場
- 居心地
  - ・みんなの中心、気軽に行けるエリア
  - ・多機能である(商店街…買い物…病院)→来たくなる機能の集まった場所
  - ・しっかりとした面積がとれる場

・ワークシート①



・ワークシート②



【2班】 第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワーvv クショップ ～ テーマ:新庁舎の望ましい立地の要件とは ～

【グループ意見交換①】 ～第１回ワークショップを振り返る「これからの庁舎とは、どうあるべきか(理念・キーワード)」～

これからの庁舎とは、どうあるべきか（理念・キーワード）				
＜市の中心に＞ ・北杜市の中心である ・北杜市の中心(JR、高速、道路等) ・北杜市の中心にあること 〔現庁舎は、車で３０分以上かかってしまう、買い物しやすい場所、人が集まる場所、道路をつくること（拡張を含めて）も必要、車以外のことも考えるべき〕 ・なるべく中心に(場所)〔循環バスの充実〕	＜交通＞ ・交通の便が良い ・アクセス（車・電車） ・交通的利便性 〔場所が決まったところで交通網を整えるべき〕	＜災害＞ ・災害の発生のない場所 ・災害時対応できること〔災害に強い場所、断層などをしっかりと調べること〕 ・〔災害に強い場所〕（今後災害は増加する）	＜便利な場所＞ ・市民の方が行きたくなるような環境の整ったところ 〔本庁舎に行く人は多いのか、水道局や包括支援センターなどをまとめるべき、介護、水道、保育関係がバラバラな場所にある〕〔部局の横のつながりを強めるよう仕組みを変えるべき、窓口一つで対応して欲しい〕 ・職員が働きやすい庁舎	＜その他＞ ・自然が多い場所 ・公共の場所〔公共施設の跡地を利用、お金がかからない〕 ・ムダなお金をかけない庁舎 ・駐車場が広くとれるところ

【グループ意見交換②】 ～新庁舎の望ましい立地の要件を考える（立地に求められる要件・条件）～

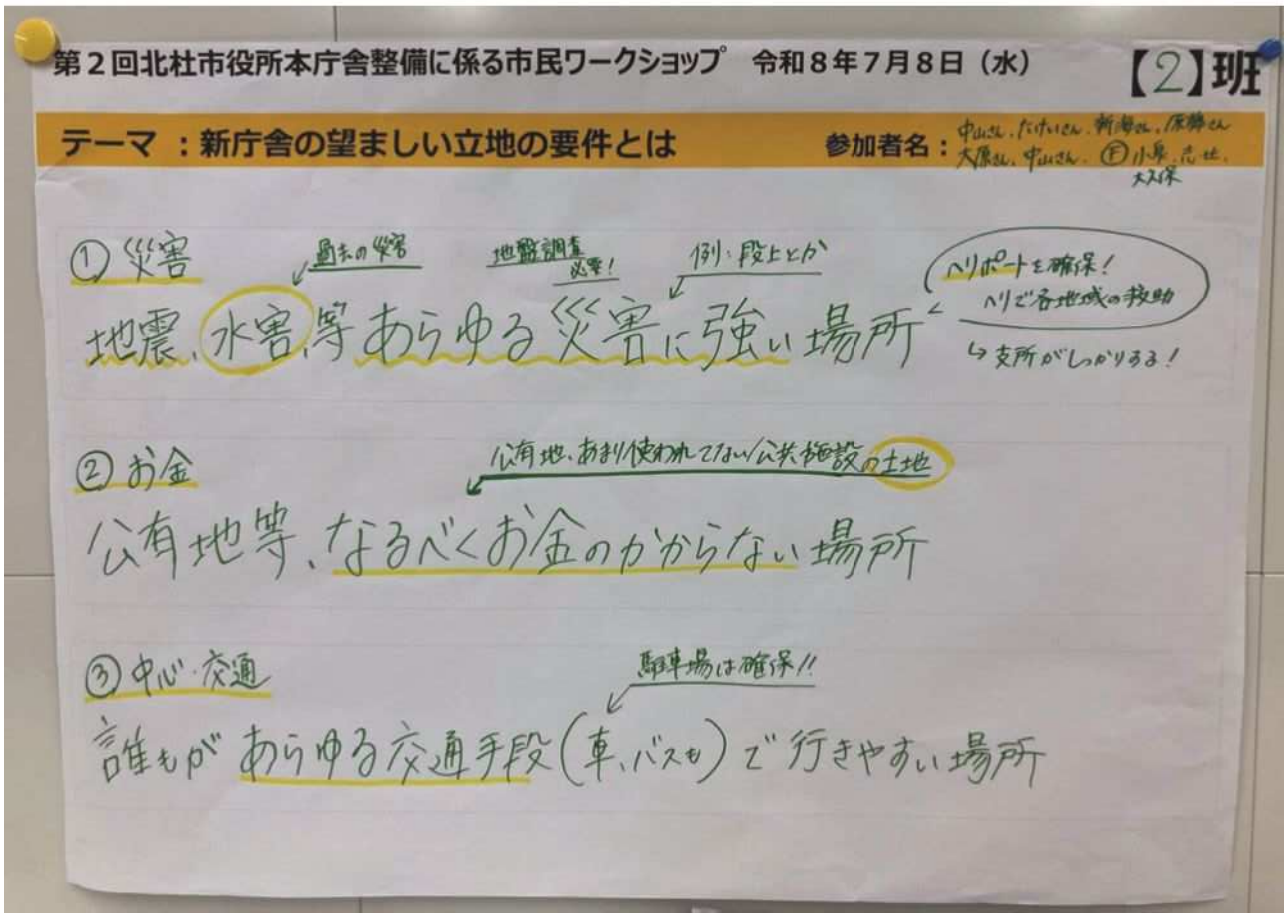
利便性・交通アクセス	防災拠点性・安全性	地域的公平性・中心性	財政・経済性・持続可能性	まちづくり・周辺連携	その他
・買い物も出来る場所〔きららシティ付近利便性が良い〕 ＜駐車場＞ ・広い場所 ・駐車場も考慮できる(広さ) ＜公共交通＞ ・車がない(運転できない)人も行ける ・公共交通(バス)〔今の交通ありきで考えるべきか〕	＜災害(地震、水害等)＞ ・(災害に強い)風害、地震 ・災害の起きない場所 ・断層の有無〔過去に災害があった場所は避けるべき、高根、長坂、大泉、小淵沢のエリアで決めるべき、水害があった場所をさける〕	＜市の中心＞ ・なるべく市内中心(長坂 IC 等、ただし連休中は長坂 IC 付近は渋滞する)〔既に中心となっている場所を建てるとよい〕 ・行きやすい中心的な場所(市有地を利用する)	＜お金をかけない＞ ・公共の場所〔秋田小学校跡地、高根支所の活用〕 ・とくべつ外観等にお金をかけない〔費用・安全性が優先、アクセスは後から対応できる、費用を優先にムダな税金を使わない〕	・お金がかからない、安全、アクセス⇒他は後から合わせて地域づくりを ・庁舎を中心に新しい店が増えるかも	

【グループ意見のとりまとめ】 新庁舎の望ましい立地の要件とは

- ①災害
  地震、水害等あらゆる災害に強い場所
  ⇒過去の災害、地盤調査必要、 ヘリポートを確保、ヘリで各地域の救助→支所がしっかりする
- ②お金
  公有地等、なるべくお金のかからない場所
  ⇒公有地、あまり使われてない公共施設の土地
- ③中心・交通
  誰もがあらゆる交通手段(車、バスも)で行きやすい場所
  ⇒駐車場は確保

・ワークシート①

・ワークシート②



【3班】 第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ ～ テーマ:新庁舎の望ましい立地の要件とは ～

【グループ意見交換①】 ～第１回ワークショップを振り返る「これからの庁舎とは、どうあるべきか(理念・キーワード)」～

これからの庁舎とは、どうあるべきか（理念・キーワード）					
・市民は支所へ行けば事足りる状況が良い ・各町のハブとなる本庁舎。各町で地形や自然条件が違う ・市民と関わる課は支所機能を強化・充実し、本庁舎はコンパクトに ・関係する課が同じ場所にあり連携できる。場所が離れているとより縦割り行政となり連携が難しくなる	・人が集まれる環境整備。民間力を生かす ・事例として、長野県佐久市。駅前にイオンがあり、市役所がある等まちのデザインが必要。 ・病院拠点	・各部署の場所が一目でわかる。インフォメーションやコンシェルジュなど。	・地域資源の有効活用	・安心安全の防災拠点 ・防災拠点となりえる環境 ・北杜市全体を統括する強固な防災 ・災害拠点となる場所と建物 ・災害時にも対応できる環境 ・市長が来やすい場所	・交通の便が良い ・公共交通（駅除く）や車でも行きやすい ・駐車しやすい ・市の中枢として恒常的に効率的に市民が利用しやすい庁舎

【グループ意見交換②】 ～新庁舎の望ましい立地の要件を考える（立地に求められる要件・条件）～

利便性・交通アクセス	防災拠点性・安全性	地域的公平性・中心性	財政・経済性・持続可能性	まちづくり・周辺連携	その他
・支所機能（市民の手続き、窓口対応）が充実していれば、本庁舎は必ずしも市の中心にある必要はない ・支所とのネットワークが重要である。パターンとして、支所を７つ、３つ、２つ、１つプラス本庁舎という案が出た ・支所に行けば全て事足りるシステムにする ・市民が滅多に行かなくてよい庁舎	・市の中枢となる場所として災害時も機能できることが必要 ・市長官邸があると良い（災害時にすぐに来やすい） ・標高が低く、木がないと雪害が少ない ・国道、高速からのアクセス。トラブル時に国道、高速がまずはじめに復旧する ・全課がもれなく集まり、中枢としてまとまる ・建物構造に加え、地震に強い地盤、水害に強い立地、火災に強い立地、土石流、大雪 ・災害に強い立地条件を備える場所であれば、どこでも良い。市として何をビジョンとするか？		・市には財政的に新庁舎を建設する余裕はあるのか？ ・今ある支所を活用し、本庁舎は無駄なくできると良い	・情報化、IT 化、ロボット、AI、ネットワーク等により、必要なものはどこでも手に入るため、新庁舎は手続きの場ではなくなる〔新庁舎は DX の推進により手続きする場所ではなくなる〕 ・小学校、中学校の場所、地理的な段差、消防拠点等から市を分割してデザインする（３つ程度） ・支所機能の強化 ・ウーブンシティーやディズニーランドのように、新庁舎を拠点にまちづくりしていくと、今は人がいない場所でも人が集まる場所になっていくのではないか ・新庁舎を拠点に地元の商店、起業した商店が開くと地元にお金が落ちるようになる。 ・公園が付随してあれば親しみのある庁舎になる ・支所機能が充実していれば、本庁舎は地理、人口の中心でなくても良い	

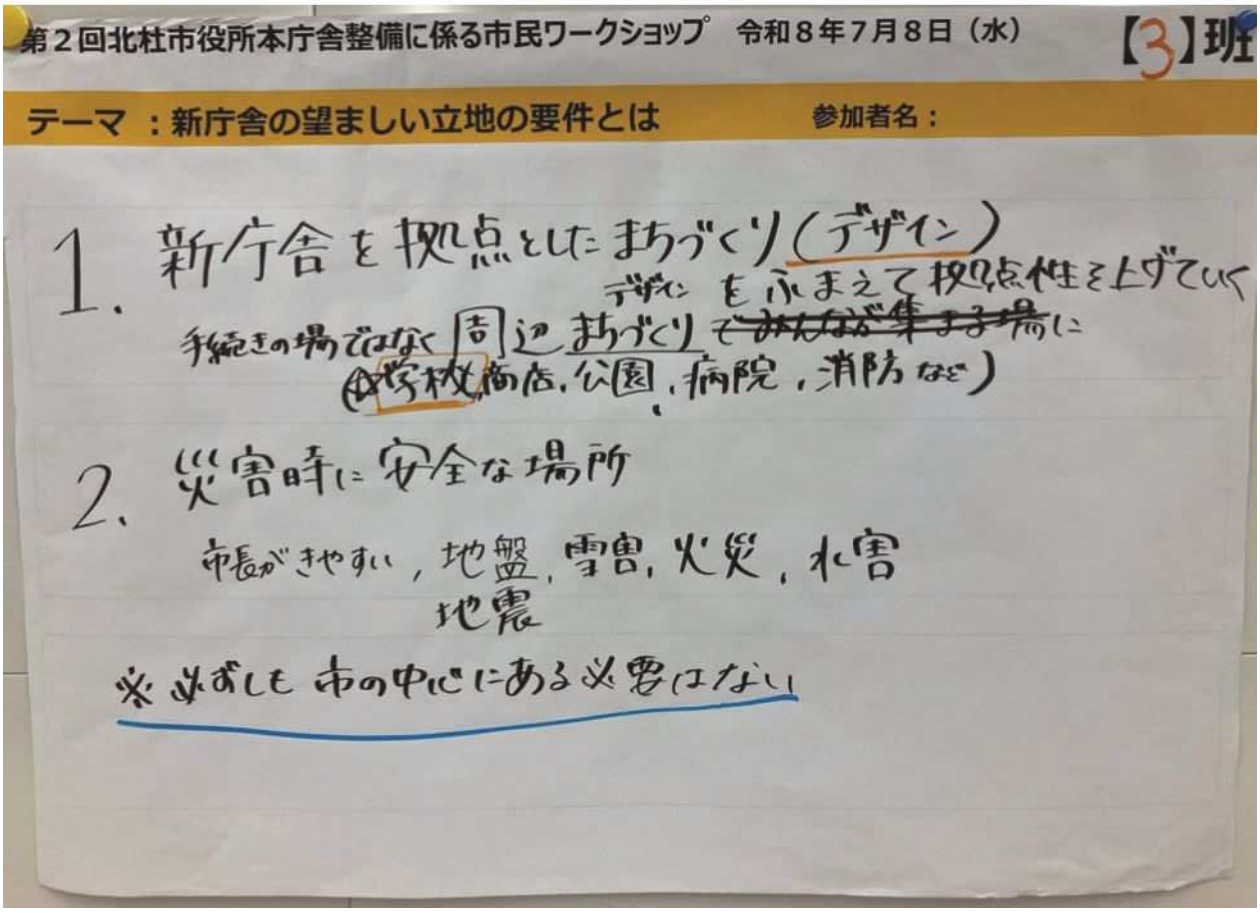
【グループ意見のとりまとめ】 新庁舎の望ましい立地の要件とは

- 新庁舎を拠点としたまちづくり・デザイン
  本庁舎は今後、デジタル技術の発展により手続きの場ではなくなる。
  そのため、中学校再編や支所との関係性等を踏まえて、拠点性を上げていく周辺まちづくり(商店、公園、病院、消防など)が重要となる
- 災害時に安全な場所
  地震、火災、水害、雪害、市長が指揮するために来やすいなど、災害時に安全に指揮系統を確保できる場所

※必ずしも市の中心にある必要はない

・ワークシート①

・ワークシート②



【4班】

第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ ～ テーマ:新庁舎の望ましい立地の要件とは ～

【グループ意見交換①】～第１回ワークショップを振り返る「これからの庁舎とは、どうあるべきか(理念・キーワード)」～

これからの庁舎とは、どうあるべきか（理念・キーワード）		
・川沿いをさける ・災害が起こりにくい所 ・市民が利用できる避難所にする ・湧水(井戸)がある ・災害時に強く情報が発信できる ・防災の中心であること！ ・安心安全な場所、現在のところ須玉は風水害に強い場所といわれている	・アクセスのよい場所、防災の拠点、公園的な緑地 ・中央道の出口、入口が近いところ ・しっかりした駐車場 ・交通便のよい所 ・交通のアクセスが良い所 ・駅、インターの近く	・北杜市の中心地(行きやすい) ・町の中心地 ・いろんな目的（買物、郵便）が達せられる町が良い ・市立天文台を新市役所内に ・新市役所内に中庭を作り、子供公園にする ・低予算 ・庁舎の中が広く、ゆったりとできる ・外観は木造調 ・庁内案内とか入口でわかりやすい様に ・各町の特産品

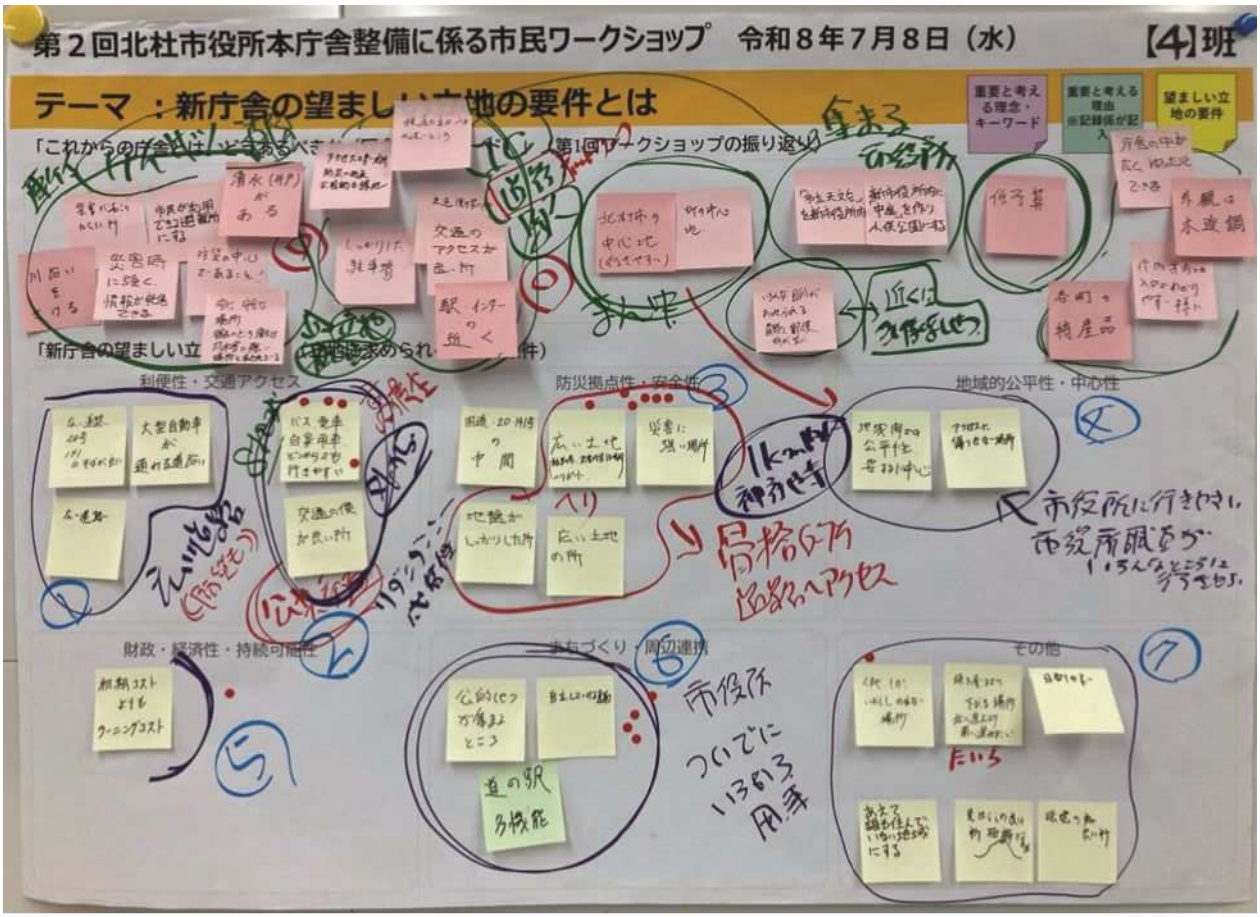
【グループ意見交換②】～新庁舎の望ましい立地の要件を考える（立地に求められる要件・条件）～

利便性・交通アクセス	防災拠点性・安全性	地域的公平性・中心性	財政・経済性・持続可能性	まちづくり・周辺連携	その他
＜広い道路（防災も）＞ ・広い道路(20 号、141 号)のそばが良い ・大型自動車が通れる道沿い ・広い道路 ＜公共交通＞ ・バス、電車、自家用車、どこからでも行きやすい ・交通の便が良い所	・国道(20 号，141 号)の中間 ・広い土地(駐車場、災害時集積場所、ヘリポート) ・災害に強い場所 ・地盤がしっかりした所 ・広い土地の所	・地域間での公平性、要するに中心 ・アクセスに偏りがない場所	・初期コストよりもランニングコスト	・公共施設が集まる所 ・自立していける建物 〔道の駅、多機能〕	・クマや、シカ、イノシシの出ない場所 ・坂を上るより下る場所、北へ進むより、南に進みたい ・日当たりのよい ・あえて誰も住んでいない地域にする ・見はらしの良い新拠点都市ですが ・環境の良い所

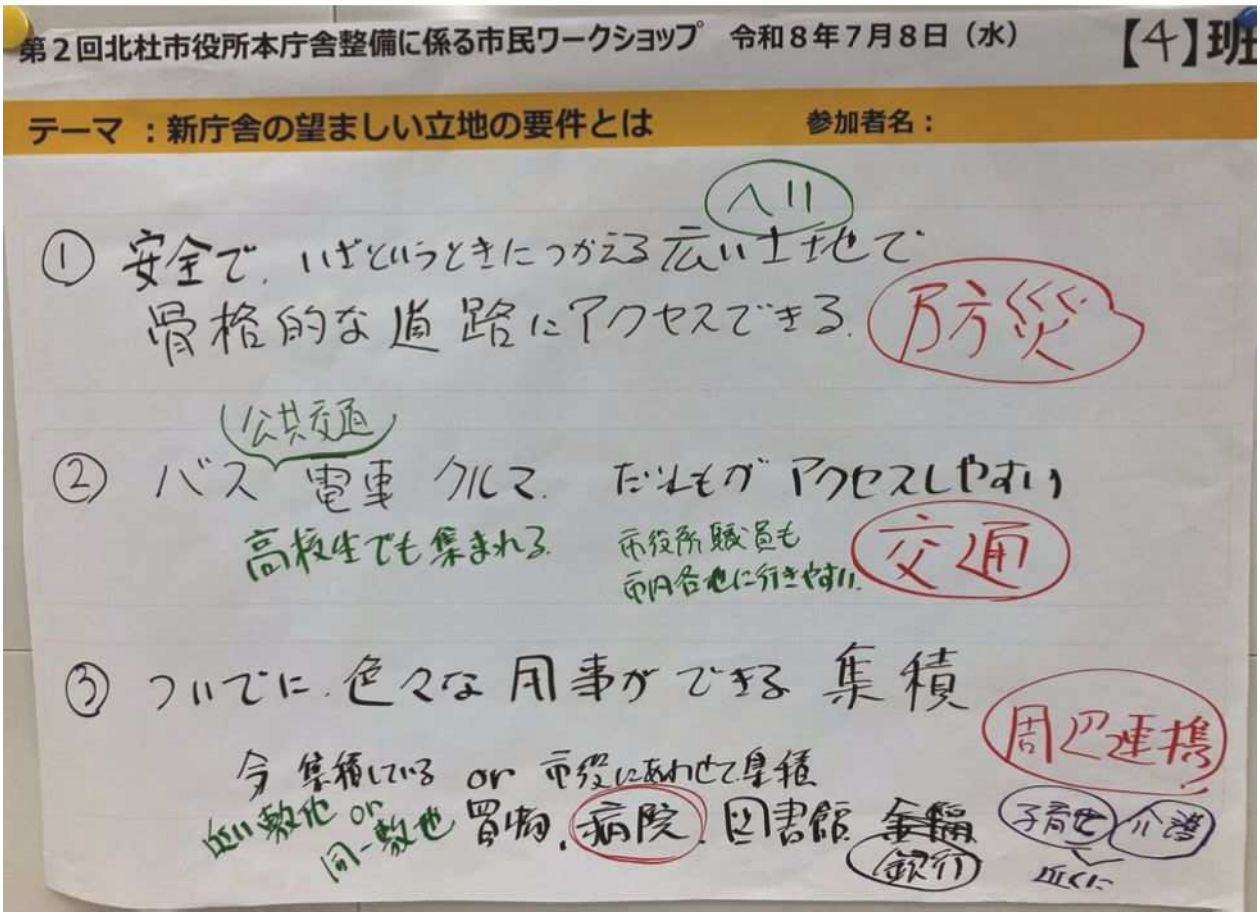
【グループ意見のとりまとめ】新庁舎の望ましい立地の要件とは

- 防 災 ： 安全でいざというときにヘリコプター等も使える広い土地で骨格的な道路にアクセスできる
- 交 通 ： 公共交通(バス、電車)、クルマ、だれもがアクセスしやすい
  ⇒高校生でも集まれる、市役所職員も市内各地に行きやすい
- 周辺連携 ： ついでにいろいろな用事ができる集積
  ⇒今集積している(近い敷地or同一敷地)or 市役所にあわせて集積(買物、病院、図書館、銀行、子育て、介護)

・ワークシート①



・ワークシート②



【5班】

第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ ～ テーマ:新庁舎の望ましい立地の要件とは ～

【グループ意見交換①】～第１回ワークショップを振り返る「これからの庁舎とは、どうあるべきか(理念・キーワード)」～

これからの庁舎とは、どうあるべきか（理念・キーワード）					
＜防災＞ ・防災拠点となり得る場所に庁舎がほしい（中心） ・防災の中心拠点として動ける ・どういう市にしたいのか(防災都市、環境都市) ・〔災害に強い機能〕集中型 or 分散型を考える ・地形･地質も防災上重要	＜進め方＞ ・若い年代層に聞くこともよいかも、時代の流れと市の発展を望む〔北杜市らしさ〕	＜公共交通＞ ・公共交通の強化（バスターミナル化、市民バス、路線バス、高速バス乗り場の集約）〔本庁舎と公共交通の連携、充実(により立地はどこでもよい)〕 ・公共交通利用者のための施設の強化(駐車場や休憩スペースなど) ・市内のほぼ中心で交通網の利便性が良いこと	＜建築計画＞ ・広さが重要、物資置場〔ヘリポート〕 ・期間限定のお店等（U･Ｉターン）〔人が集まるような仕組みづくり〕 ・機能(DX,IT 等が充実していて効率的な行政サービス)、(ワンフロアで用事が効率的に済ませられる)〔１フロア、低くて広く〕 ・北杜市らしい建築、(星見里(屋上)、市民コミュニティの場)	＜支所＞ ・各支所との連携（防災、事務的作業、地域性） ・市内各支所と業務を振り分けた新庁舎であること〔本庁と各支所の明確な役割分担、ゆとりのある本庁舎〕 ・集中させすぎない ・コストを各支所へ、支所の充実	＜財政＞ ・公共用地等を活用した庁舎(現北杜市の経済を考えると全ての土地を新調できない)〔財政的な理由(限られた資金)〕

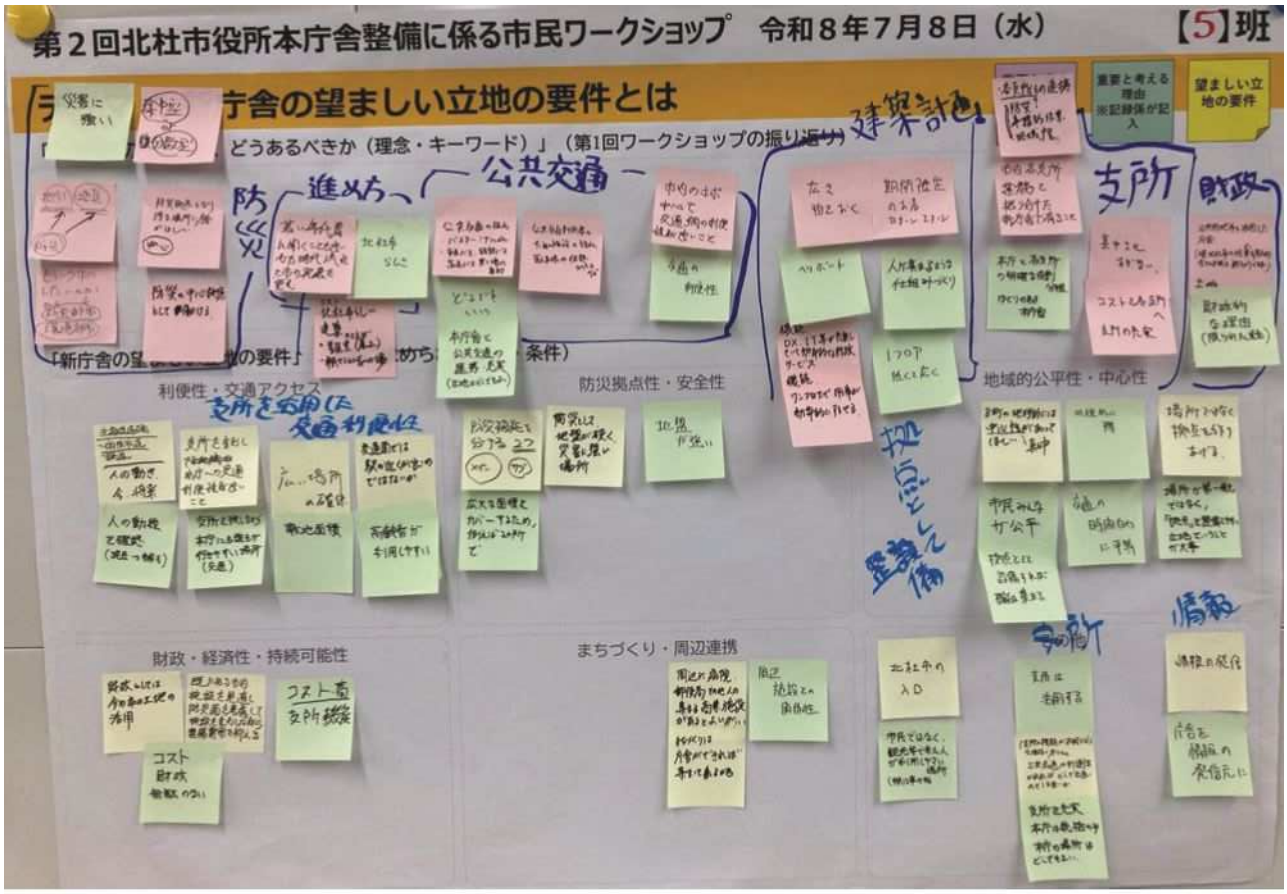
【グループ意見交換②】～新庁舎の望ましい立地の要件を考える（立地に求められる要件･条件）～

利便性・交通アクセス	防災拠点性・安全性	地域的公平性・中心性	財政・経済性・持続可能性	まちづくり・周辺連携	その他
・主要交通網（国道、県道、市道、鉄道） ・現在と将来の動線を確認して、主要交通網、道路、鉄道を考える ・支所を生かして本庁への交通利便性が良いこと〔支所を残しながら本庁にも誰もが行きやすい場所(交通)〕 ・広い場所の確保〔敷地面積〕 ・交通面では駅の近くが良いのではないか〔高齢者が利用しやすい〕	・防災機能を分ける２つ(メインとサブ)〔広大な面積をカバーするため、例えば２ヶ所〕 ・防災として、地盤が硬く災害に強い場所〔地盤が強い〕	＜拠点としての整備＞ ・８町の地理的には中心性があってほしい（真ん中）〔地理的に平等〕〔市民皆が公平〕〔交通の時間的に平等拠点として整備すれば機能は集まる〕 ・場所ではなく拠点を作りあげる〔場所が第一優先ではなく、「拠点」を整備しやすい立地という事が大事〕	・財政としては今の市の土地の活用 ・既にある市内施設を見直し防災面を考慮して施設を生かしながら整備費用を抑える〔コスト、財政、無駄のない〕 ・支所機能を高めると、コストも高くなる	・周辺に病院・郵便局その他、人の集まる商業施設があると良い ・まちづくりは庁舎ができれば集まって来るかも 〔周辺施設との関係性〕	・北杜市の入口〔市民ではなく、観光等で来た人が利用しやすい場所(市民は車があるため)〕 ・(支所の機能が不明だが)公共交通の利便性があればどこでもよいのではないか〔支所を充実、本庁は統括のみ、本庁の場所はどこでもよい〕〔支所は活用する〕 ・情報の発信〔庁舎を情報の発信元に〕

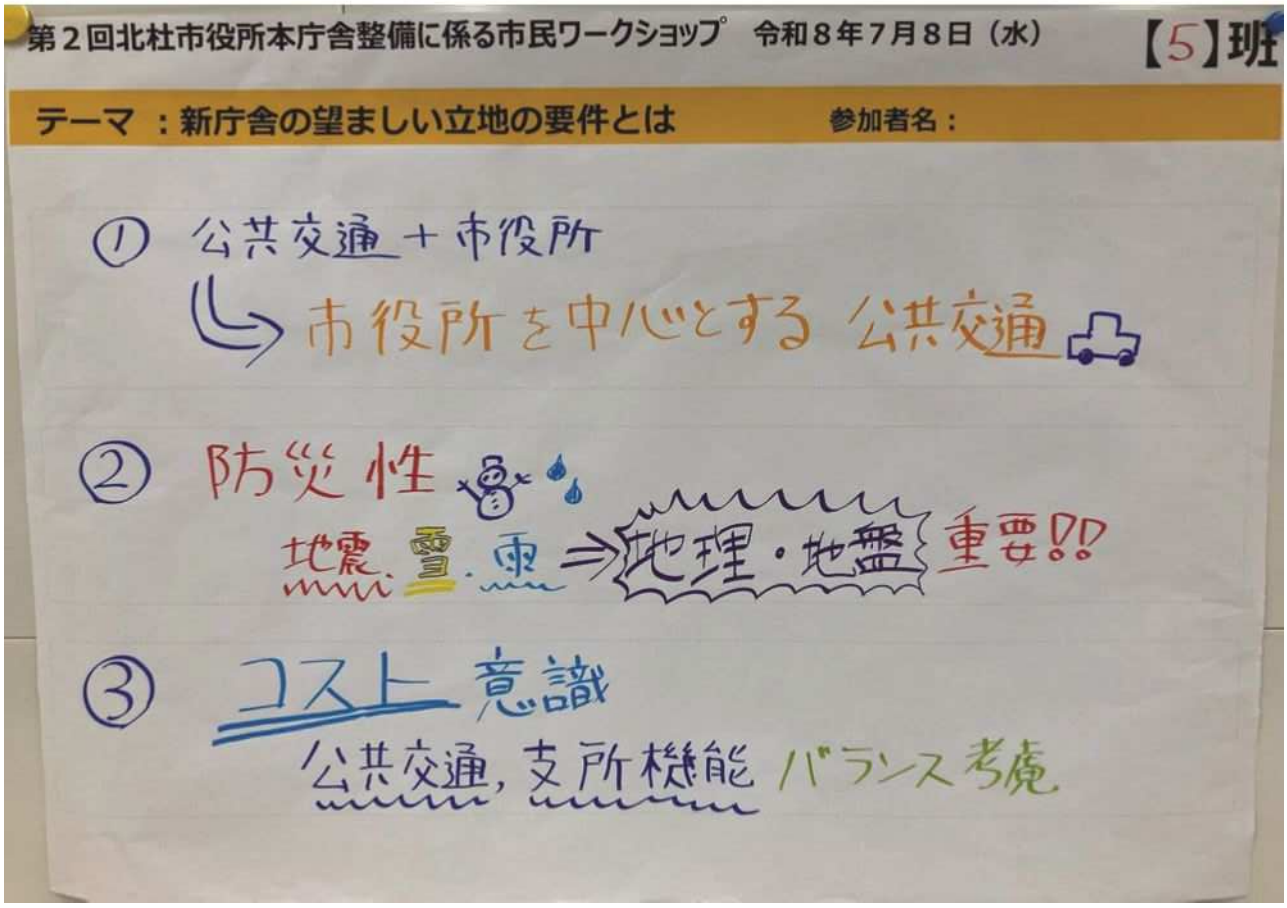
【グループ意見のとりまとめ】新庁舎の望ましい立地の要件とは

- 公共交通＋市役所
  ⇒市役所を中心とする公共交通
- 防災性
  地震、雪、雨⇒地理･地盤重要！！
- コスト　意識
  公共交通、支所機能　バランス考慮

・ワークシート①



・ワークシート②



【6班】

第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ ～ テーマ:新庁舎の望ましい立地の要件とは ～

【グループ意見交換①】～第１回ワークショップを振り返る「これからの庁舎とは、どうあるべきか(理念・キーワード)」～

これからの庁舎とは、どうあるべきか（理念・キーワード）						
＜交通＞ ・太い道の近く　・駐車場がたくさん ・路線バスが乗り入れやすい ・市民バスの経路と合わすべき ・利便性、車でも公共交通機関を使ってでも行くことができる ・バスターミナルになる ・各地域と結ぶネットワークが必要 ・公共交通機関の充実　・タクシーの常駐 ・車や公共交通で行きやすい場所 ・公共交通の利用しやすさの追究	＜防災＞ ・災害発生時に物資の輸送(市内、市外どちらも)が出来やすい場所 ・防災関係拠点となるように ・防災拠点として具体的な施設の在り方を考えるべき ・防災拠点となりうる安全な地 ・北杜市の立地を考えた防災対策をして頂きたい(ドローンの活用) ・安全な場所、緊急時に職員がサッと集まれる	＜平ら＞ ・建築を考えた(バリアフリーなどの)平らな土地の確保〔広い土地が確保しやすい〕 ・高齢者が多くなるのでバリアフリー等配慮されている所〔暗い時に安全に来られるように〕	＜まちづくり＞ ・幅広い世代が集える	＜中心性＞ ・北杜市の中心にある(どこ？地理的に？生活の上で中心はない？) ・交通に関して市の中心部に庁舎を作ってほしい ・立地条件、北杜市内のほぼ中心に ・本庁、支所の適当な配置 ・(支所を生かすなら)支所とかぶらない所、まんべんなく離れる	＜財政＞ ・周辺道路の整備が済んでいる整備が必要の無い場所 ・廃校となる中学校の利用 ・土地、建物も含め財政と見合った場所、規模 ・使える既存施設は使うべき ・財政関係、ネットワークを重視し、あまりお金をかけない	＜DX＞ ・DX が最大限に活用できる仕組みづくり

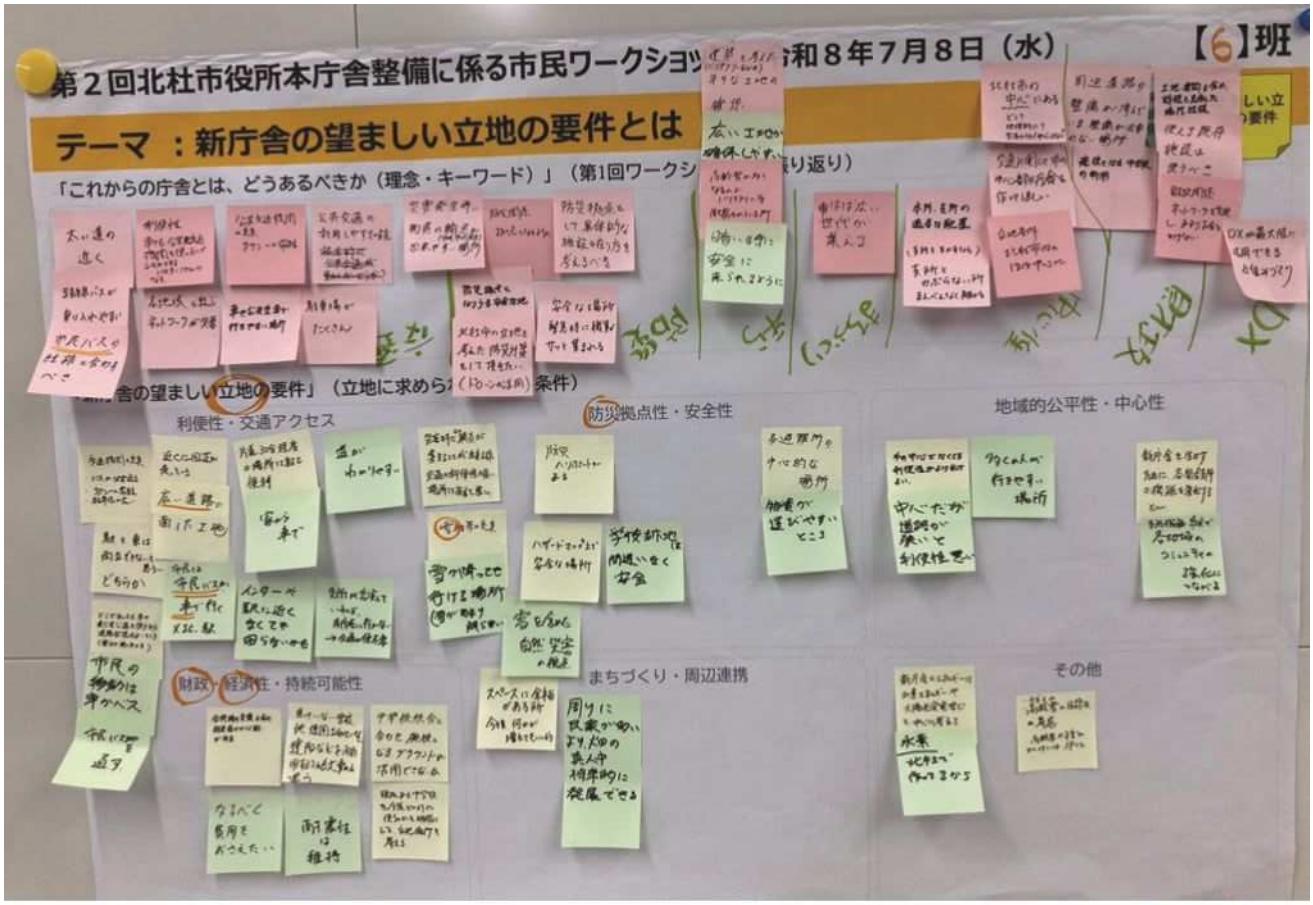
【グループ意見交換②】～新庁舎の望ましい立地の要件を考える（立地に求められる要件・条件）～

利便性・交通アクセス	防災拠点性・安全性	地域的公平性・中心性	財政・経済性・持続可能性	まちづくり・周辺連携	その他
・交通機関の充実(バスが必ず通る、タクシーの常駐、駐車場が広い) ・近くに国道が走っている ・駅と車は両立できないと思う…どちらか ・広い道路に面した土地〔市民は市民バスか車で行く ×IC、駅〕〔インターや駅に近くなくても困らないかも〕〔支所が充実していれば、本庁舎に行かない→交通の便不要〕 ・どこであっても、車や公共交通を使うなら道路状況のよいところ(雪など降ったとき)〔市民の移動は車かバス、市民バスを通す〕 ・家から車で片道 30 分程度の場所にあると便利〔道がわかりやすい〕	・災害時に市の職員が集まることが出来る様、交通の利便性の良い場所にあると良い ・雪対策の充実〔雪が降っても行ける場所(雪があまり降らない)〕〔雪を含めた自然災害の視点〕 ・防災ヘリポートがある ・ハザードマップ上で安全な場所〔学校跡地は間違いなく安全〕 ・各地避難所の中心的な場所〔物資が運びやすい所〕	・市の中心でなくても利便性がよければよい〔中心だが道路が狭いと利便性悪い〕〔多くの人が行きやすい場所〕 ・新庁舎を生かすために、各総合支所の機能を強化するといい〔支所機能充実で各地域のコミュニティの強化につながる〕	・合併時の負債も含め財政面での心配がある〔なるべく費用をおさえたい〕 ・使っていない学校他、使用されていない建物などを再利用することも大事かと思う〔耐震性は維持〕 ・中学校統合と合わせ、廃校となるグラウンドが活用できないか ・現在ある中学校を今後どのように使うのかを明確にして、立地場所を考える	・スペースに余裕がある所（今後何かが増えてもいいよう）〔周りに民家が多いところより、畑の真ん中〕〔将来的に発展できる〕	・新庁舎のエネルギーは水素エネルギーや太陽光発電などを中心に考える〔水素：北杜市で作っているから〕 ・子育て世代や高齢者の目線を考慮（高齢者や子育て関係は 1F に）

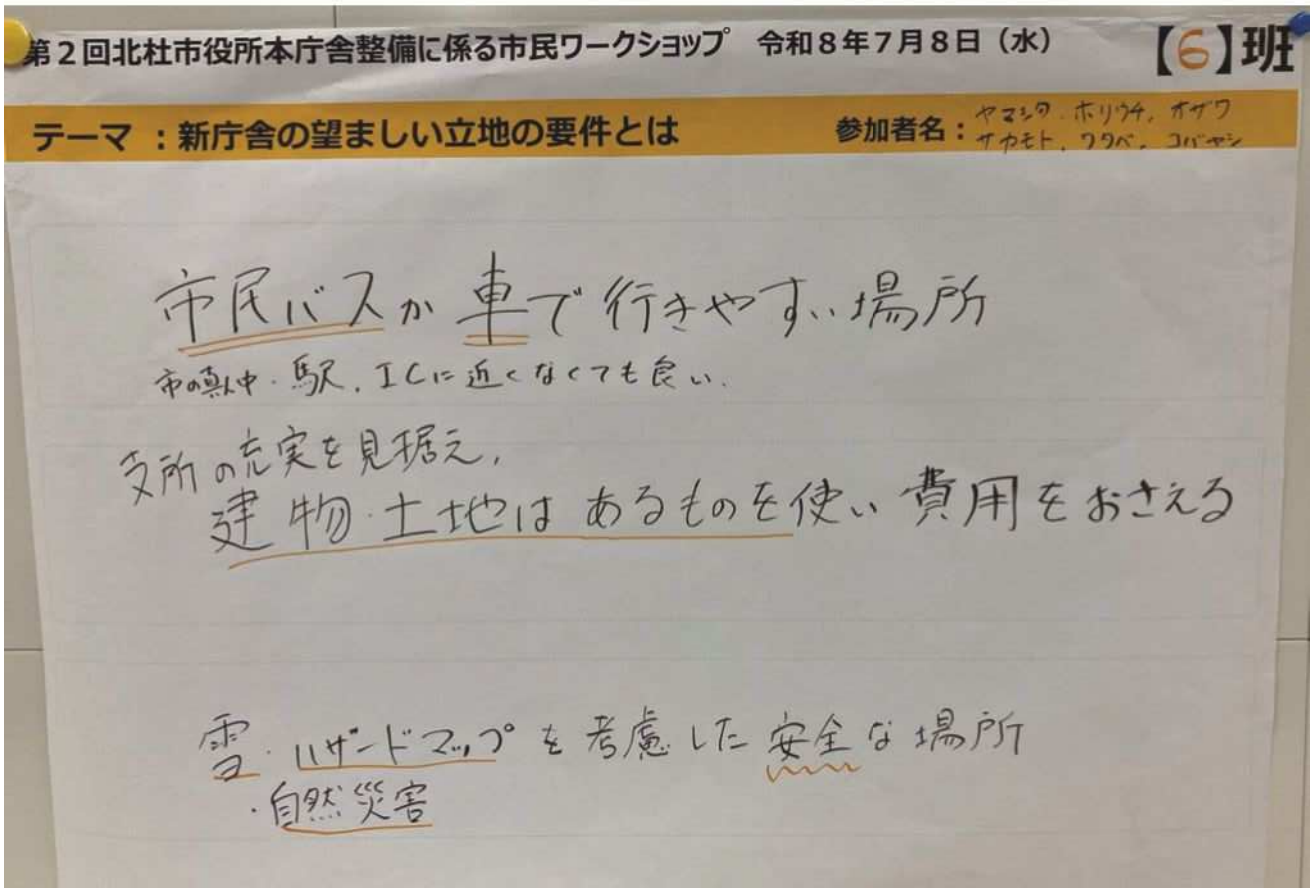
【グループ意見のとりまとめ】新庁舎の望ましい立地の要件とは

- 市民バスか車で行きやすい場所→市の真ん中、駅、IC に近くなくても良い
- 支所の充実を見据え、建物・土地はあるものを使い、費用をおさえる
- 雪・自然災害・ハザードマップを考慮した安全な場所

・ワークシート①



・ワークシート②



【7班】

第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ ～ テーマ:新庁舎の望ましい立地の要件とは ～

【グループ意見交換①】～第１回ワークショップを振り返る「これからの庁舎とは、どうあるべきか(理念・キーワード)」～

これからの庁舎とは、どうあるべきか（理念・キーワード）			
・市民の誇りになるような施設(外観、内部)〔画期的、先進的〕 ・北杜市らしい建物〔北杜市に誇りを持てる〕 ・「北杜市らしさ」は今後の世代がつくっていく	・災害時(緊急時)に機能する庁舎であって欲しい。 ・災害に強い ・広い敷地を確保する	・地理的にも機能的にも市の中心でありたい ・市の中心にと思う	・新市庁舎の周囲に開発の余地のある場所が望ましい〔庁舎を中心として周辺が開発され市街地となる、都市機能できあがる、建てる場所の周囲に開発余地がある〕 ・機能性重視！！〔行政の中心、災害時含め機能性、デザイン性より機能性、コスト押さえて機能性重視〕

【グループ意見交換②】～新庁舎の望ましい立地の要件を考える（立地に求められる要件・条件）～

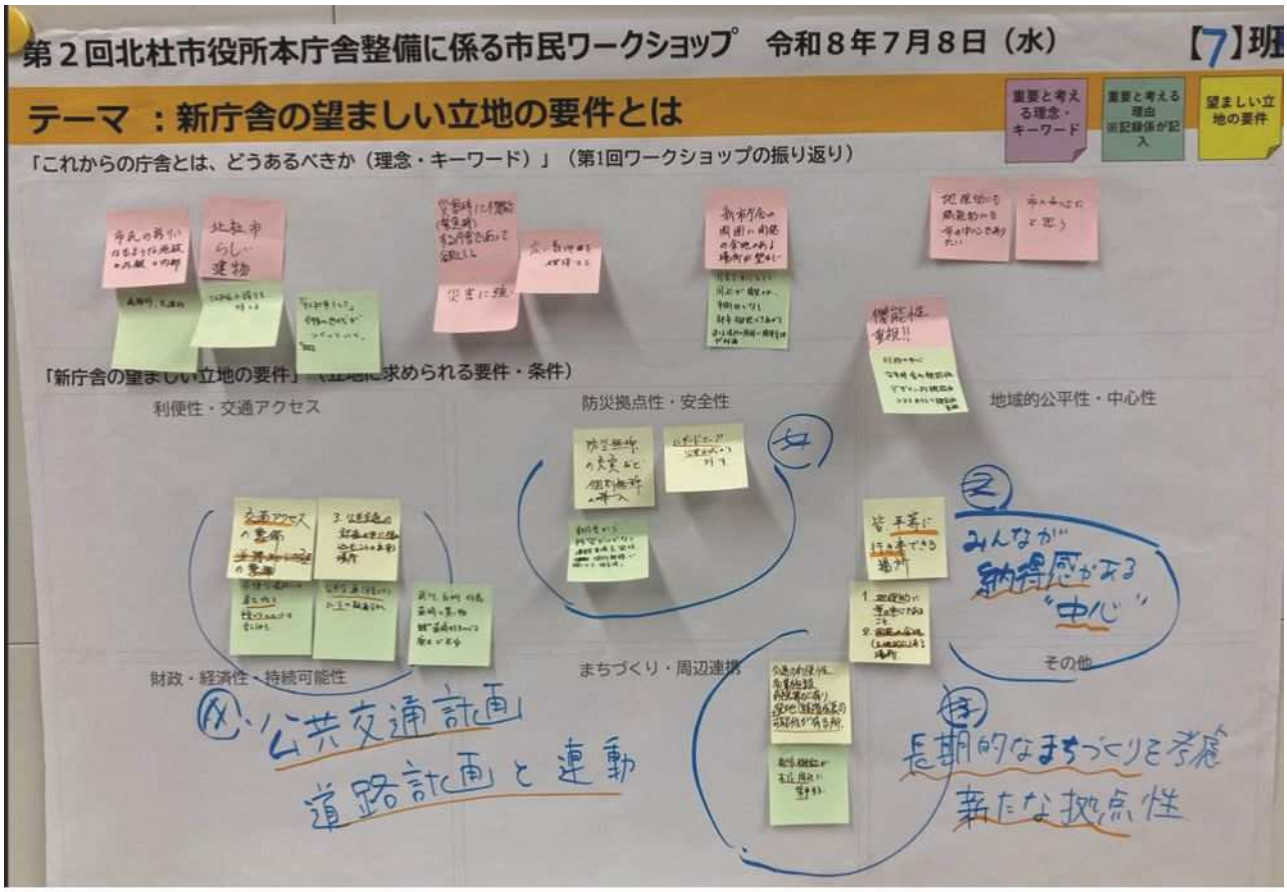
利便性・交通アクセス	防災拠点性・安全性	地域的公平性・中心性	財政・経済性・持続可能性	まちづくり・周辺連携	その他
・交通アクセスの整備 ・道路及び公共交通の整備〔不便な場所には道を作る、市営バスのルートは変えられる〕 ・公共交通の計画の中に組み込むことの出来る場所〔公共交通(市営バス)ルートの融通利く〕〔武川、白州住民は韮崎へ買い物（韮崎行きのバス廃止で不安)〕	・防災無線の充実など個別無線の導入〔新庁舎から防災だけでなく連絡事項を発信、個別無線で聞こえる〕 ・ハザードマップの災害区域から外す	・皆、平等に行き来できる場所 ・地理的に市の中心であること ・開発の余地(土地的に)ある場所		・交通の利便性、商業施設、病院等が有り、土地(経済成長の可能性が)有る所〔都市機能が本庁周辺に集中する〕	

【グループ意見のとりまとめ】新庁舎の望ましい立地の要件とは

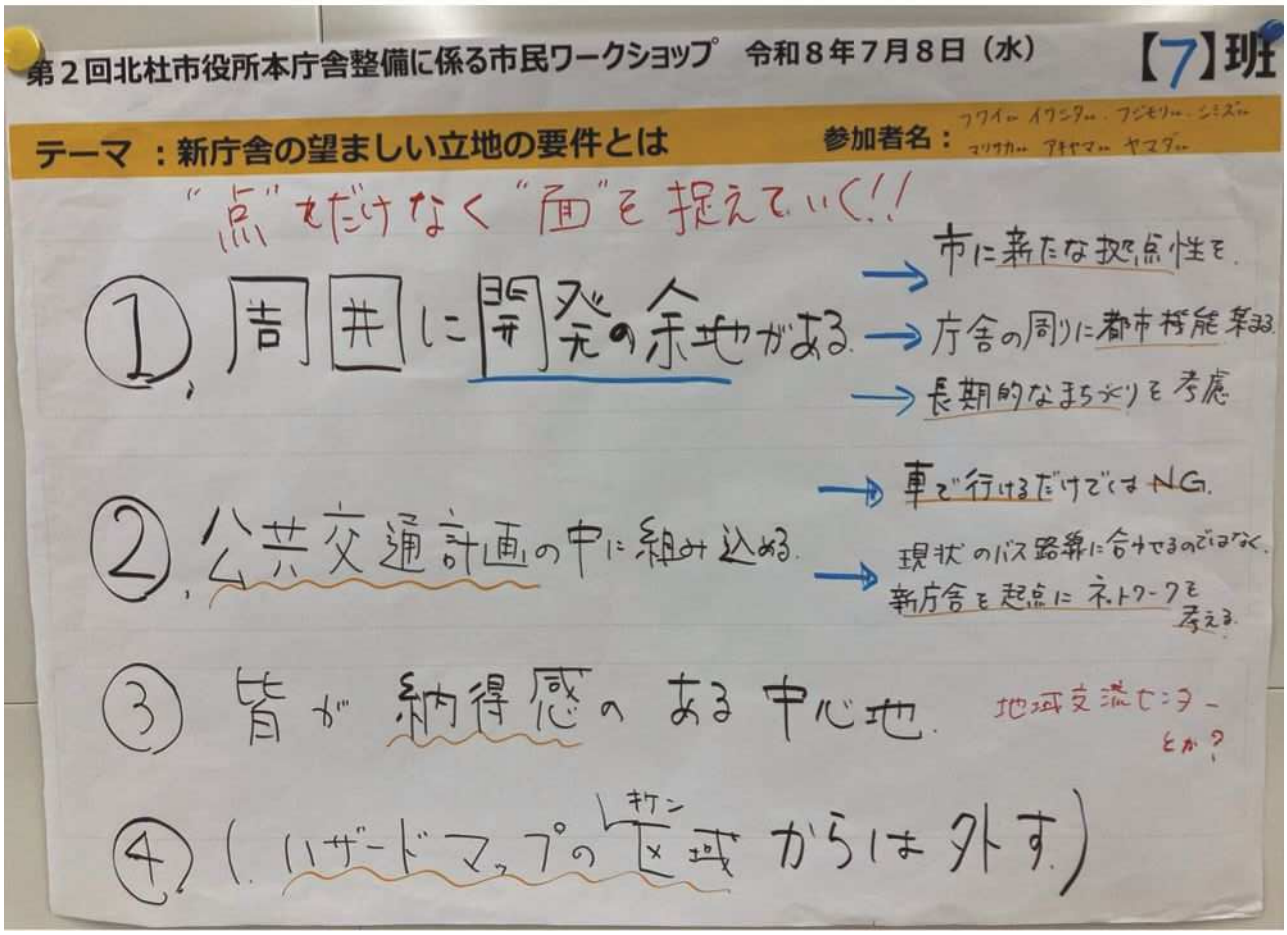
“点”だけでなく“面”をとらえていく

- ①周囲に開発の余地がある
  →市に新たな拠点性をつくる
  →庁舎の周りに都市機能が集まる
  →長期的なまちづくりを考慮
- ②公共交通計画の中に組み込める
  →車で行けるだけでは NG
  →現状のバス路線に合わせるのではなく、新庁舎を起点にネットワークを考える
- ③皆が納得感のある中心地
- ④ハザードマップのキケン区域からは外す

・ワークシート①



・ワークシート②



【8班】

第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ ～ テーマ:新庁舎の望ましい立地の要件とは ～

【グループ意見交換①】～第１回ワークショップを振り返る「これからの庁舎とは、どうあるべきか(理念・キーワード)」～

これからの庁舎とは、どうあるべきか（理念・キーワード）						
＜施設の使いやすさ＞ ・補助金が一ヶ所でわかる ・違う課の用事が移動しなくてもできる ・動線が短い 〔ワンストップの窓口〕 ・庁舎内がわかりやすい ・誰にもやさしい設備 〔ユニバーサルデザイン、バリアフリー〕	＜シンボル＞ ・北杜市のシンボル ・北杜市の中心を構成する所に ・屋上広場(景色)	＜交流できる＞ ・交流の場 ・多世代が行きやすい庁舎がよい ・市民が集える場所	＜防災＞ ・防災の中心施設として ・災害時の拠点となる ・安心安全の防災拠点である事 ・防災拠点を併設している	＜交通・アクセス＞ ・気軽に立ち寄れる ・用事が無くても立ち寄れる、集えるスペースがある ・アクセスが良い ・交通の便の良い所	＜周辺施設のアクセス＞ ・各機関にアクセスが良い ・近くに商業施設や公園がある ・スーパーや買い物ができる所 〔公的機関や商業施設の集積地〕	＜その他＞ ・既存の施設を活用する ・駐車場の確保

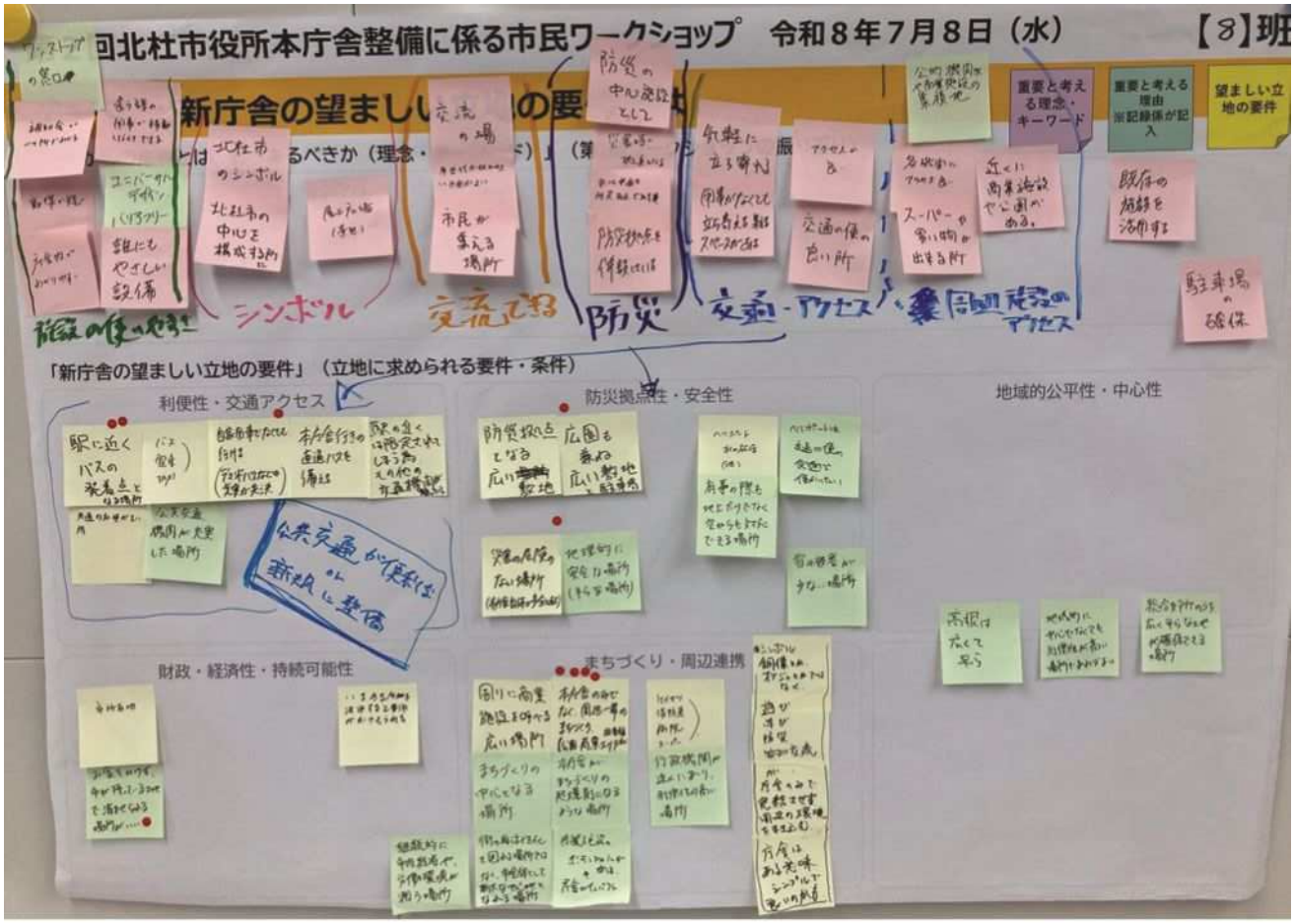
【グループ意見交換②】～新庁舎の望ましい立地の要件を考える（立地に求められる要件・条件）～

利便性・交通アクセス	防災拠点性・安全性	地域的公平性・中心性	財政・経済性・持続可能性	まちづくり・周辺連携	その他
・駅に近くバスの発着点となる場所 ・バス、電車、タクシー ・交通の利便がよい所 ・自家用車でなくても行ける（デマンドバスなどの充実が先決） ・本庁舎行きの直通バスを備える ・駅の近くは限定されてしまう為、その他の交通機関が整っている 〔公共交通機関が充実した場所〕	・防災拠点となる広い敷地 ・公園も兼ね広い敷地と駐車場 ・災害の危険のない場所(本庁舎自体が安全である)〔地理的に安全な場所（平らな場所)〕 ・ヘリポート、水の確保(池)〔有事の際も地上だけでなく、空から対応できる場所〕〔ヘリポートは交通の便の側面で使いたい〕 ・雪の被害が少ない場所		・市の所有地〔お金をかけず、市が持っている土地で済ませられる場所がいい〕 ・いまある所を活用すると費用がおさえられる ・継続的に市内経済や労働環境が潤う場所	・周りに商業施設を呼べる広い場所〔まちづくりの中心となる場所〕〔街の再活性化を図れる場所ではなく、市全体として新たな中心地となれる場所〕 ・本庁舎のみでなく、周辺一帯のまちづくり(公園、商業エリア、図書館など)〔本庁舎がまちづくりの起爆剤になるような場所〕〔商業施設のポテンシャルがある。→庁舎のインパクト〕 ・警察、消防署、病院、スーパー〔行政機関が近くにあり、利便性の高い場所〕 ・シンボル（銅像とかオブジェとかではなく） ・遊び、学び、防災、交流が庁舎のみで完結させず、周辺の環境を巻き込む。 ・庁舎はある意味シンプルでもいいのかも	・地域的に中心でなくても利便性が高い場所であればよい ・総合支所のうち、広く平らな土地が確保できる場所（高根は広くて平ら）

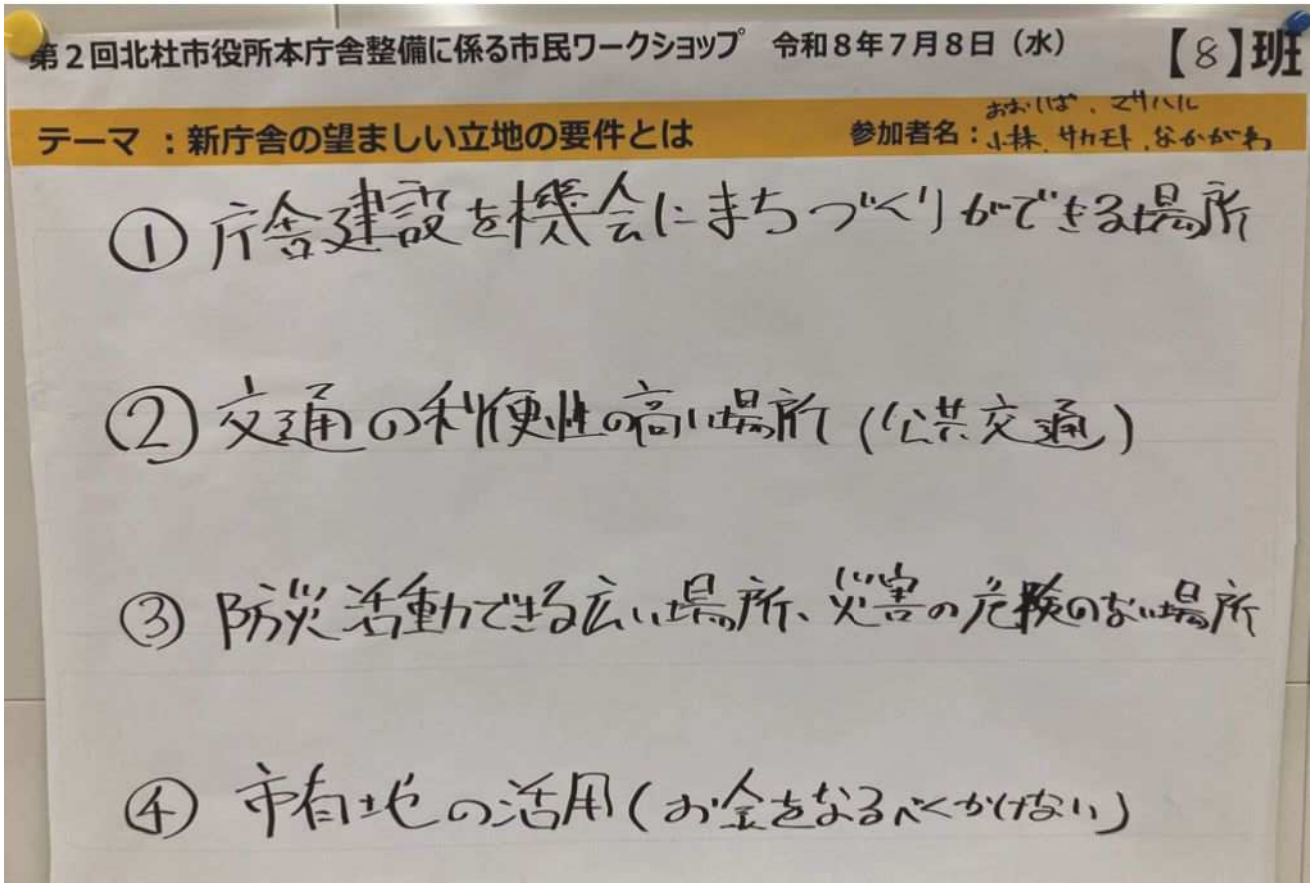
【グループ意見のとりまとめ】新庁舎の望ましい立地の要件とは

- 庁舎建設を機会にまちづくりができる場所
- 交通の利便性の高い場所(公共交通)
- 防災活動できる広い場所、災害の危険のない場所
- 市有地の活用(お金をなるべくかけない)

・ワークシート①



・ワークシート②



第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ

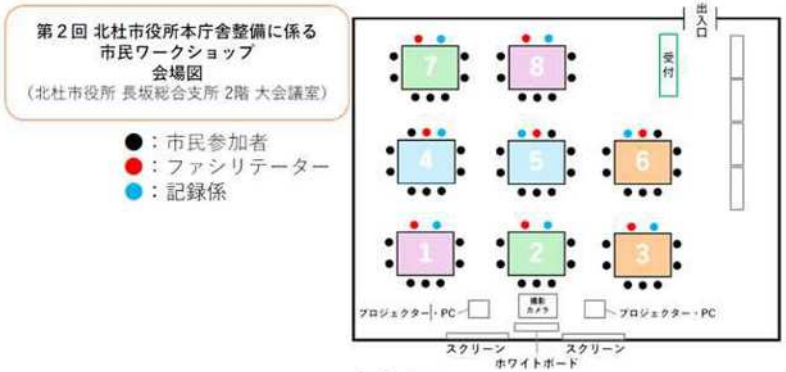
開催状況

（１）実施概要

- 開 催 日：令和８年７月８日(水) 19:00-21:00
- 開催場所：長坂総合支所 2階 大会議室
- 参加人数：45名
- テ ー マ：新庁舎の望ましい立地の要件とは

当日のプログラム

時刻	内容
19:00	開会 ・開会のあいさつ ・事務局からの説明
19:10	グループ意見交換①「第１回ワークショップを振り返る」 ・第１回 WS を振り返り、特に重要だと思う、これからの庁舎に関する理念やキーワードについて意見交換します。
19:35	グループ意見交換②「新庁舎の望ましい立地の要件を考える」 ・新庁舎があるといいなと思う場所、満たす必要があると思う要件・条件について意見交換します。
20:10	全体まとめ・発表準備
20:25	全体発表（各班３分）
20:50	講評 ・グラフィックレコーディングによる講評 ・全体総括
21:00	閉会



会場図

受付側から見た会場全景

（２）開催状況

① 開会のあいさつ【19:00-19:05】

- 開会のあいさつ（政策秘書部長）により、ワークショップがスタートしました。

（２）開催状況

② 事務局からの説明【19:05-19:10】

- 事務局よりワークショップの趣旨、注意点（各メンバーの意見尊重等）を共有しました。

（２）開催状況

③ グループ意見交換①「第1回ワークショップを振り返る」

【19:10-19:35】

- 第1回WSを振り返り、特に重要だと思うこれからの庁舎に関する理念（あるべき機能や考え）や、キーワードを、ピンクの付箋に記入しました。
- その後、各自が内容を発表しながら付箋を模造紙へ貼り付け、意見の整理と共有を行いました。

（２）開催状況

④ グループ意見交換②「新庁舎の望ましい立地を考える」

【19:35-20:10】

- 意見交換①での意見を踏まえ、新庁舎があるといい場所、満たす必要があると要件・条件、地域全体がよりよくなる提案を、黄色い付箋に具体的に記入しました。
- その後、各自が内容を発表しながら付箋を模造紙へ貼り付け、意見の整理と共有を行いました。

（２）開催状況

⑤ 全体まとめ・発表準備【20:10-20:25】

- 前段の意見交換を踏まえ、新庁舎の場所・条件に関する班の意見を集約しました。
- 必要に応じてシール投票も活用しながら、特に重要と考える理念・条件を3点程度に整理し、発表に向けた準備を行いました。

（２）開催状況

⑥ 全体発表　【20:25-20:50】

（1班）

（２班）

（３班）

（４班）

（５班）

（６班）

（７班）

（８班）

- 意見交換を行った内容について、各班から選出された代表者が発表しました。
- ワークショップで整理したワークシートをホワイトボードに掲示し、
  参加者全員が見える形で発表しました。

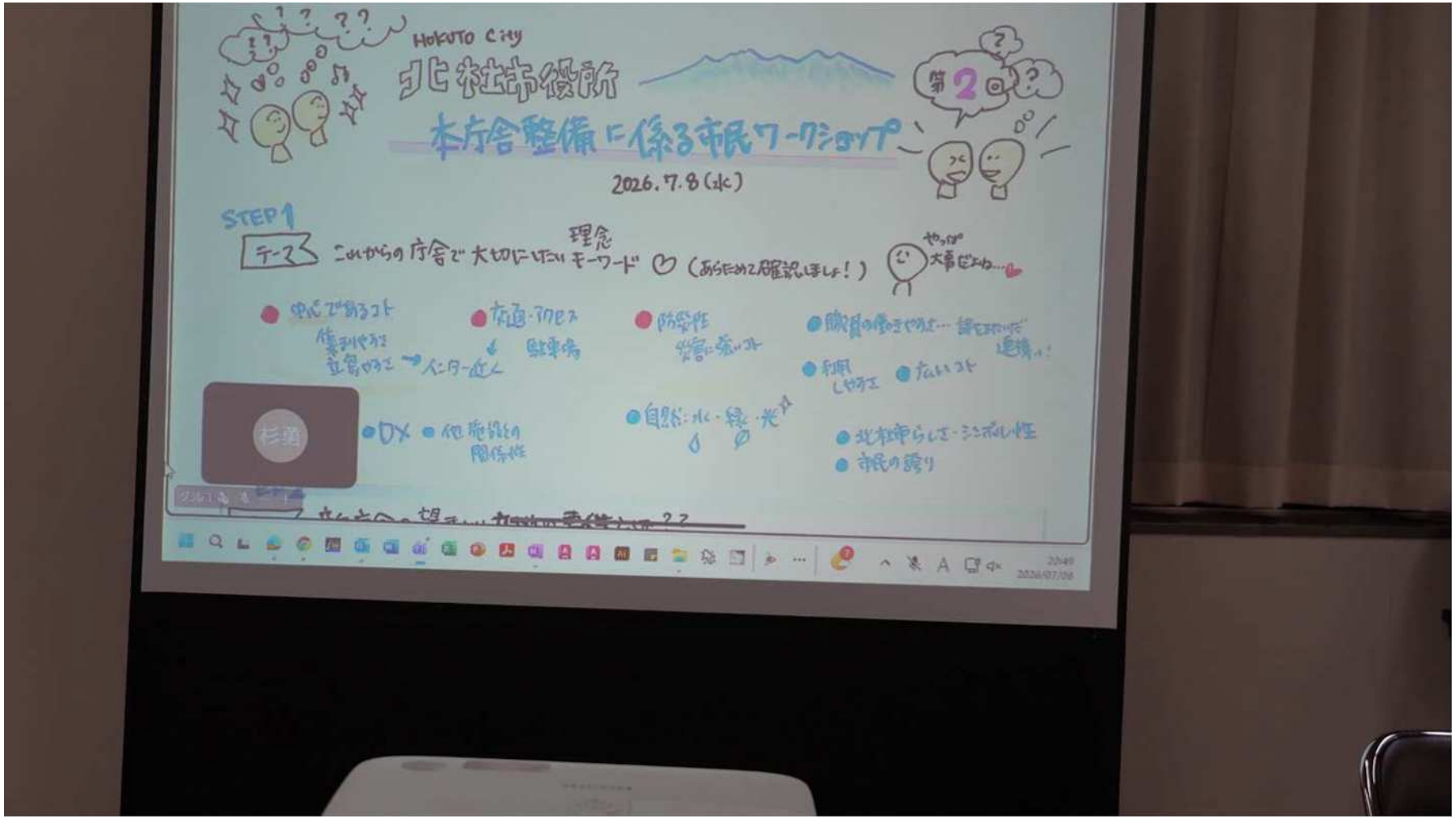
（２）開催状況　（※動画）

（２）開催状況

⑦ グラフィックレコーディングによる講評【20:50-20:55】

- グラフィックレコーディング※成果をスクリーンに投影し、当日の意見を振り返り、参加者全員で共有しました。
  ※議論の内容を文字やイラストで分かりやすく整理する手法

（２）開催状況　（※動画）


HOKUTO City
北杜市役所
第2回
本庁舎整備に係る市民ワークショップ
2026.7.8(水)
STEP1
テーマ
これからの庁舎で大切にしたいモーワード（あらためて確認しましょ！）
理念
やっぱ大事じゃわ…
中心で動くコト
交通・アクセス
防災性
職員の働きやすさ…
利用しやすさ
たいコト
自然：水・緑・光
DX
他施設との関係性
北杜市らしさ・シンボル性
市民の誇り
杉浦

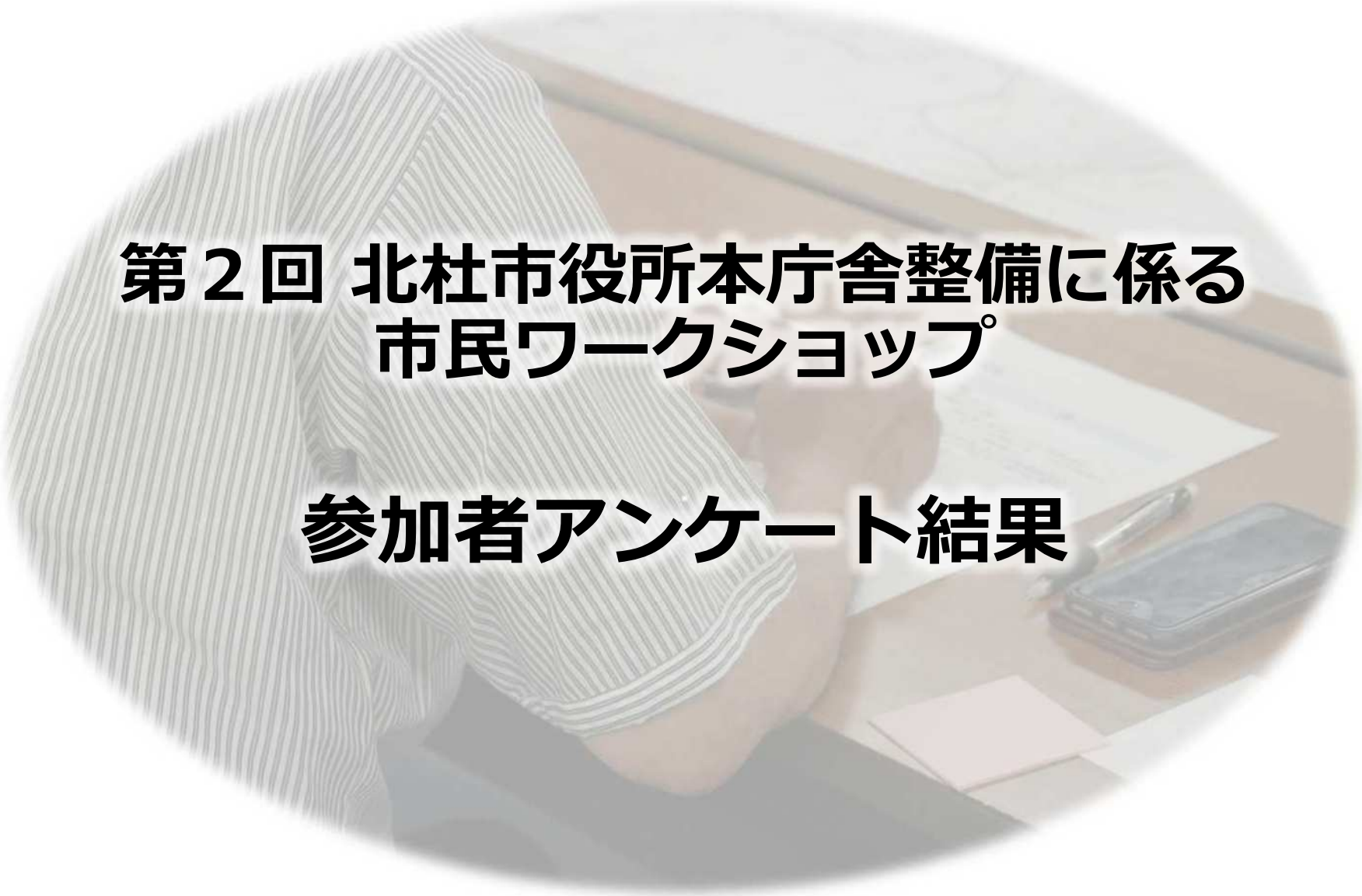
（２）開催状況

⑧ 全体総括【20:55-20:58】

- 全体ファシリテーターによる第2回ワークショップの総括・まとめを行いました。

⑨ 閉会【20:58-21:00】

- 閉会のあいさつ（政策推進課長）により、ワークショップが終了しました。



第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ

参加者アンケート結果

（1）目的

ワークショップの運営状況や成果に対する参加者の評価を把握し、今後の改善につなげることを目的としてアンケート調査を実施しました。

第2回　北杜市役所本庁舎整備に係る市民ワークショップ

参加者アンケート

本日は、ワークショップにご参加いただきまして、どうもありがとうございました。
今後の参考とするため、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。
回答内容は、今後市が実施するワークショップの検討材料のみに使用させていただきます。

1. 参加した班に○を付けてください。

【　1班　2班　3班　4班　5班　6班　7班　8班　】

2. 第2回ワークショップの感想をお聞かせください。　**※該当する評価に○を付けてください**

Q1　話し合いの時間は十分でしたか

十分だった	比較的十分だった	どちらともいえない	やや不十分だった	不十分だった

Q2　十分な議論ができましたか

十分だった	比較的十分だった	どちらともいえない	やや不十分だった	不十分だった

Q3　班としてとりまとめた結果は満足のいくものでしたか

満足のいくものだった	比較的満足できた	どちらともいえない	やや不満	満足できなかった

3. 今回のワークショップで良かった点や気になった点があればお聞かせください　**※自由記述です**

ご協力ありがとうございました。記入後は参加された班のファシリテーターまでお渡しください。

※紙のアンケートと内容は共通です。

第２回 北杜市役所本庁舎整備に係る
市民ワークショップ　参加者アンケート

QR コードを読み取り、アンケートにお答えください。

（所要時間は２～３分です。）

QR コードが使用できない方は、近くの係員までお声がけください。

本日は「第２回 北杜市役所本庁舎整備に係るワークショップ」に
ご参加いただきありがとうございました。

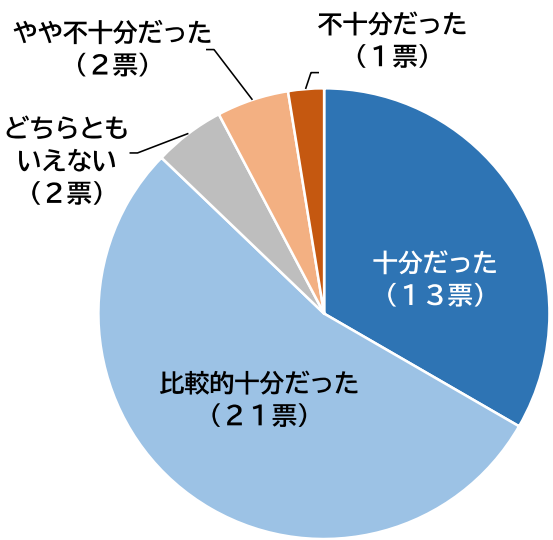
次回のワークショップは、令和８年８月４日（火）（19：00～21：00）です。
皆様のご参加お待ちしております。

北杜市　政策秘書部　政策推進課

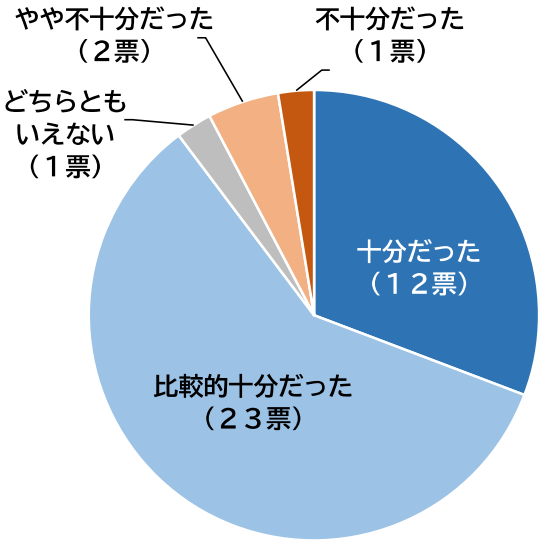
（２）結果

- 回答数 n=39 （web 8件、紙 31件）
- 回答率 86.7%（39/45名）

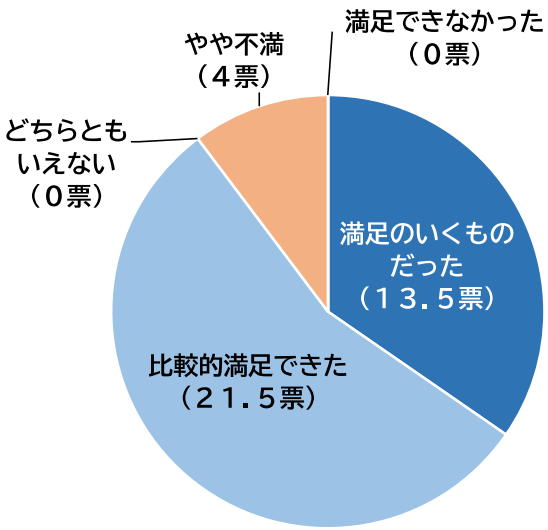
Q1.話し合いの時間は十分でしたか



Q２.十分な議論ができましたか



Q3.班としてとりまとめた結果は満足のいくものでしたか



※満足と比較的満足の中間との回答があったため、0.5票ずつ集計しています

➢ 各設問で肯定的な回答が約9割を占めており、班内で活発な議論と概ね満足のいく取りまとめができたことがうかがえます。

（３）結果（自由記述）

「今回のワークショップで良かった点や気になった点があればお聞かせください」

良かった点

- 交流ができました。
- ワークショップの進め方（手順）が示されていたので意見が出し易かったです。話し合いを通してほぼ同じ意見にしぼられてきたように思います。3回目はさらに場所に関して焦点化すると思われます。
- この機会に感じることは、北杜市は8町村が合併され立派な市になりつつ有ると感じております。市がこれから繁栄していくには人々の交流を深め意見交換していくともっともっと良くなると思います。
- みなさんが前向きに庁舎の事を議論し、北杜市の未来を考えている姿、とてもすばらしいと思いました。事務局の方々もご苦労様でした。
- 話しやすいワークショップだった。
- 他の班の意見をきくことができ、考えを深めることができた。同じような意見も出て、考えは一緒なんだとあらためて思いました。とてもありがたい取組でした。

（３）結果（自由記述）

「今回のワークショップで良かった点や気になった点があればお聞かせください」

気になった点

- ワークショップであれば10代、20代の比率を高めるべき。未来志向では無い批判を恐れた答弁が目立つ
- 定刻に開始しない、指摘しないと開始できないのは参加している人に失礼ではないのか。次回は開始時間をあと30分遅くするか、定刻に開始できる準備をしっかりして欲しい
- 休日を活用して、もう少し時間をかけてもいいかも
- 第一回目では「作るか否かはまだ決まっていない」と言っていたのに、第2回目では作ることを前提としての場所の意見交換会になってしまっていました。作るか否かの議論は何処に行ってしまったのでしょうか？
- 様々な意見が出る中で自分の意見をまとめて発表し、最終的に班の意見をまとめるという作業は慣れるまで大変だと思いました。
- 皆さん多くの意見を出されていたのが良かった。今日のテーマは8班とも同じ様な意見となる様な進め方だったのが残念（必然的な進行方法だったと思う）